岩出市教育委員会 様

令和6年度 教育委員会事務事業評価に関する意見書の提出
について

私たち評価委員は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により教育委員会から委嘱を受け、令和6年7月16日及び令和6年8月9日の2回にわたり評価委員会を開催した。

令和5年度は、2023年5月8日、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行し、外出自粛の要請や就業制限などがなくなり、実質的には日常生活における制約がほぼない状態となった。

そのような社会情勢の中、「新型コロナ流行前」以上の成果が得られるよう教育委員会2課2館が取り組んだ47事業の評価は、昨年度と比較してa「期待以上」の評価が0事業から1事業へ、b「期待どおり」の評価が34事業から38事業へ、c「やや下回る」の評価が13事業から8事業となった。

結果としてc評価が5事業減となっていることは一定の評価はできるものの、児童生徒に関わる部分として学力向上と教育の情報化2事業が新たにc評価となり、市民全体に係ることとして、スポーツ関連5事業が継続してc評価となったことは解決すべき大きな課題である。

これらの早期課題解決に向け、PDCAサイクルに拘らず、マネジメントサイクルを適切に使い分け、今後の方針・施策に反映させ、継続的に事務改善を図ることを求めるものである。

教育総務課では、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び（令和の日本型学校教育）の実現に向け、そのツールとしてのICTのより一層の活用に向け、教員の活用指導力の更なる向上に努められたい。

生涯学習課では、市民が安心して快適に利用できる公民館や体育館などの施設整備に加え、多様化する市民ニーズを的確に捉え、より多くの人に参加いただけるよう引き続き内容の充実に努められたい。

岩出図書館では、今後、郷土資料及び寄贈図書等の登録を積極的に行い、資料の充実に努めるとともにコロナ禍を機に開始した電子図書館の利用促進に向け、広報周知に努められたい。

民俗資料館では、民俗資料館は根来寺境内に位置することから、教育及び観光振興の旗振り役として、市内外に向けて広く情報発信し続けるとともに、老若男女問わず歴史、文化を学習できる多様な講座や展示会を開催し、入場者増に繋げるよう努められたい。

これらの意見を以て、点検・評価の目的である「効果的な教育行政の一層の推進」を図られんことを切に願ひ評価委員会の意見書とする。

令和6年10月10日

岩出市教育委員会評価委員会

委員長 村中 隆子

副委員長 松田 晃作

委員 大西 利雄

令和6年度 教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主な意見
目標施策	基本施策	
心豊かな人が育つまち	学校環境の充実	<p>☞ 教育総務課</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き学校施設の長寿命化に努められたい。 ○ 経済的理由により、教育を受ける環境等に差が生まれることがないよう支援の更なる充実を図られたい。支援にあたっては、国の要綱等に基づき的確な運用に努められたい。 ○ フレンドの更なる支援の充実と合わせ、フレンドに通室する児童生徒以外の不登校児童生徒の実態把握に努められたい。 ○ 児童生徒及びその保護者の様々な課題の解消に向け、学校運営協議会委員と学校、教育行政がより情報共有、連携し取り組まれたい。 <p>☞ 生涯学習課</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校支援地域ボランティア活動事業については、人材の確保に努めるとともに、学校や地域、学校間の交流など引き続き活発な活動に取り組まれたい。
	豊かな学びと学力向上	<p>☞ 教育総務課</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育でのICT活用の目的である「分かりやすい授業」「学習の効率化」「個別学習・協働学習のサポート」「情報活用能力の向上」「教員の校務における効率化」の実現に向け、教員の横のつながりを強め、活用方法や研修成果の共有と指導力向上に努められたい。 ○ ICTを活用した教育を進めるうえで、児童生徒に対し、情報社会で適正に活動するための基となる考え方や態度（情報モラル）の指導に努められたい。 ○ コロナ渦による基礎体力低下は大きな課題であり、年間を通して運動する機会を創出するとともに陸上競技以外の種目も取り入れるなど創意工夫されたい。 ○ 子供に防犯グッズを持たせて安心するだけでなく、日頃から電池切れや故障していないかなど保護者等による継続的なメンテナンスが必要なことも周知していくこと。
	青少年健全育成の推進	<p>☞ 教育総務課</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災ジュニアリーダー育成講座を通して学校管理下外や緊急時に臨機応変に対応できる行動力の育成に努められたい。 ○ 職場体験を通して将来、社会人として自立できる力を育めるよう、一次産業を含む幅広い分野の職場体験先の確保に努められたい。 <p>☞ 生涯学習課</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 青少年健全育成事業については、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、引き続き地域ぐるみの見守り活動や啓発活動、イベントの実施等、事業の充実を図られたい。

令和6年度 教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主な意見
目標施策	基本施策	
生涯学習 できるまち	文化・芸術活動の 推進	<p>☞ 生涯学習課</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文化祭事業については、より多くの方、特に若い世代の方にも興味を持って参加してもらえるよう、内容の工夫に努められたい。
	生涯学習の充実	<p>☞ 生涯学習課</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後子ども教室については、引き続き安心・安全な子供の居場所の充実に努め、より多くの子供たちに参加してもらえるよう工夫されたい。 ○ 講座や教室については、引き続き市民のニーズを把握するとともに内容の充実に努め、より多くの方に参加いただけるよう工夫されたい。 <p>☞ 岩出図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館事業の充実（図書館運営事業）について、図書館は身近な情報拠点として、市民への読書活動の振興を担っている。 誰もが気軽に立ち寄れる居心地のよい空間づくり等利用環境の向上を図り、多様なニーズに対応した魅力ある事業及びサービスに努められたい。 ○ 図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）については、子供が読書への関心を高められるような活動や読書に親しみやすい講座及び体験活動等と連動した取組等の充実に努められたい。また子供自身が自ら進んで読書を行っていくことができるよう、さらなる読書活動の推進を図られたい。
	生涯スポーツの 推進	<p>☞ 生涯学習課</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市民運動会事業、総合スポーツ大会、市マラソン大会事業及びスポーツ教室事業については、引き続き市民のニーズの把握に努め、より多くの方に参加してもらえる内容となるよう工夫されたい。 ○ スポーツ施設運営事業については、施設の安全面を強化し快適に利用できるよう整備を行い、利用者数の増加に努められたい。
さ人 れ権 るが ま尊 ち重	人権尊重の推進	<p>☞ 生涯学習課</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育啓発事業については、人権尊重思想の普及高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広めるため、引き続き様々なテーマでの講演会の開催や庁内関係部署、各種関係団体と連携した啓発活動に取り組みられたい。 ○ 保護者学級について、積極的な実施に努められたい。

令和6年度 教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主な意見
目標施策	基本施策	
歴史を守り文化をつなぐまち	文化遺産の保護・活用	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 生涯学習課 ○ 文化遺産保存活用事業については、引き続き文化財所有者や関係機関と連携を図り、文化財の保護に努められたい。 文化遺産を活用した市民への普及・啓発については、これまでの事業をさらに充実させ実施していただきたい。
	国際化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 教育総務課 ○ 岩出市在住の外国人が増加している中、外国人と関わる機会が増えることへの備えとして、児童生徒が外国語指導助手と多くの時間を過ごせるよう取り組まれたい。
	歴史・伝統文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 生涯学習課 ○ 岩出市の文化資源である根来の子守唄を広く県内外に周知するため、子守唄普及啓発に引き続き努められたい。 ☞ 民俗資料館 ○ 展観事業については、民俗資料館は根来寺境内に位置することから、根来寺（新義真言宗）の歴史に特化した宗教的な部分も必要だが、根来寺は岩出市の歴史・文化のみならず観光の拠点であり、観光振興は市の重点業務の一つと聞いており、観光面に特化した一般受けする展示会も検討されたい。 また、令和5年度において、織田信長等の天下統一を目指した武将等、NHKの大河ドラマと関連付けて根来寺を取り上げた展示会は好評であったことから、アンケート調査を繰り返し実施し、入場者の意見聴取に基づいた展示会の開催と併せ、市内外に広く周知し入場者の増に繋がれたい。 ○ 講座事業については、一定のマニアが定着しているようだが、より広く参加者を集めるためには、アンケート調査等を繰り返し行うことで多様な講座の開催に向け努められたい。 ○ 子ども歴史学習会については、回数を増やし開催してもキャンセル待ちが出るほど、子供たちに大人気であると聞いており、より参加する機会を設けることに努められたい。